



なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立博物館ホームページでダウンロードすることができます。

秋の深まりを感じるコスモスとヒガンバナ

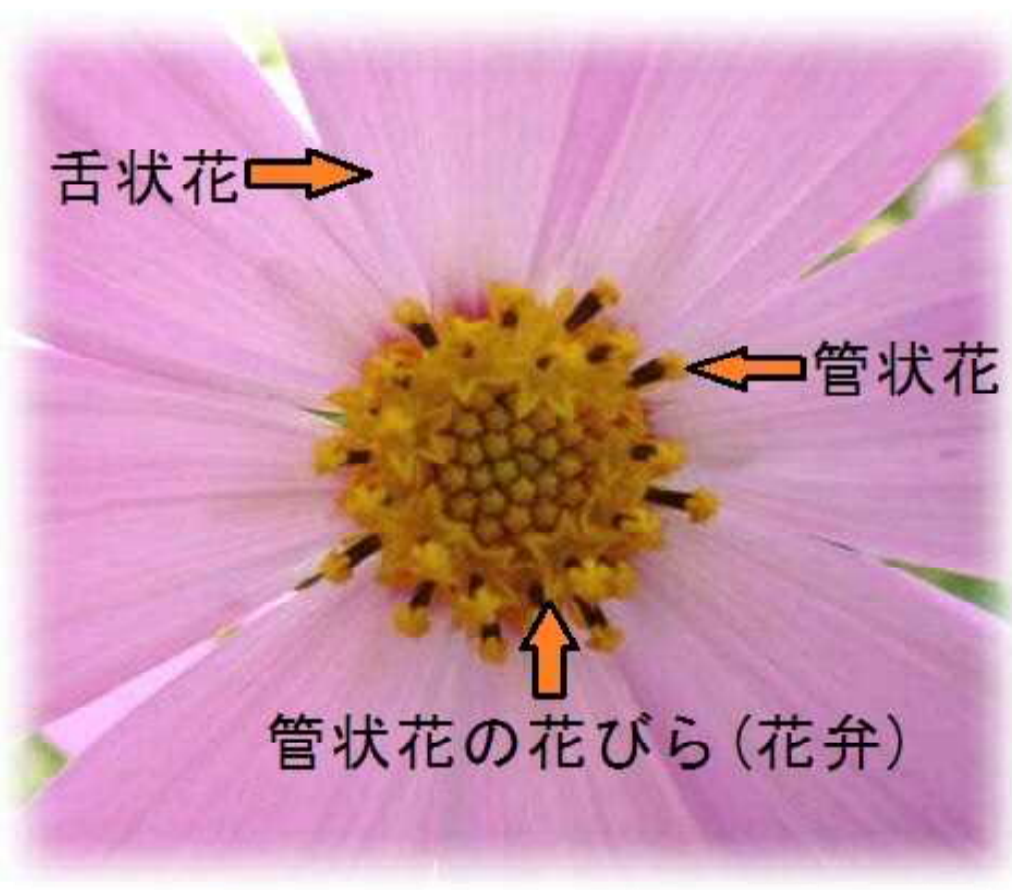
10月にはいり、めっきり秋の深まりを感じます。皆さんはどんなことで秋の深まりを感じますか。朝夕の冷え込みでしょうか。それとも、食卓に並ぶ柿や栗、サンマなどの食べ物でしょうか。道端に咲くコスモスやヒガンバナも秋の深まりを感じさせるものではないでしょうか。これらは身近な花ですが、よく見るとおもしろいですよ。



コスモスの花のつくり

コスモスの花のつくりを観察すると、1つの花に見えますが、外側に8つの花と、内側に管状の形の花が集まって咲いていることがわかります。外側の花を舌状花、内側の花を管状花と言います。舌状花は虫を集めるためにあり、種はできません。種は内側の管状花にできます。

ひまわりも同じつくりをしています。右の写真と見比べてみてください。



ヒガンバナの不思議

右の写真を見て下さい。ヒガンバナの写真ですが、何か気がつきませんか？

気づきましたか？ 茎が伸びて花が咲いているのに、葉が無いのです。ヒガンバナは秋になると地面から茎を伸ばし花を咲かせます。そして、花が枯れたあと、冬に葉が伸びていきます。冬の間太陽の光をいっぱい浴びて土の中に球根として栄養を蓄えます。春になると葉も枯れ、何も無くなったように見えますが、実は土の中に球根が残っているのです。そして秋になり、球根にためた栄養で花を咲かせるのです。

これから冬になり、葉が伸びていきますのでぜひ観察をしてみてください。

